

兵庫県養父市（やぶパートナーズ株式会社）第三セクター等経営健全化方針

この方針は、相当程度の財政的なリスクが存在する第三セクター等と関係を有する地方公共団体が、当該第三セクター等の抜本的改革を含む経営健全化のための方針を定めるものである。

1 作成年月日及び作成担当部署

作成年月日 平成31年3月22日
作成担当部署 兵庫県養父市企画総務部企画政策課

2 第三セクター等の概要

法人名 やぶパートナーズ株式会社
代表者名 五島 義和
所在地 兵庫県養父市八鹿町八鹿1685-2
設立年月日 平成25年5月23日
資本金 20,000千円 【当該地方公共団体の出資額（出資割合） 20,000千円（100%）】
業務内容 地域活性化のためのコンサルティング業務など

3 経営状況、財政的なリスクの現状及びこれまでの地方公共団体の関与

やぶパートナーズ株式会社は地域で起業などしようとする人の支援をするとともに、自らがビジネスモデルを構築することを目的に事業運営を進めているが、起業や商品開発に係る相談などについては、利用者負担を取らずに実施している。

自社運営の事業の収益が当初予想よりも下回る中、相談業務などに係る人件費、事務所経費などの負担が経営を圧迫していた。

平成29年度より相談業務などに係る経費を市が負担することとし、経営改善を図るため、取締役にも市長及び市幹部職員の就任、毎月1回の経営会議を開催し事業内容及び収支状況の報告を受けるとともに、必要に応じ事業実施内容の検討を行っている。

決算状況については、一昨年のマイナス9,691千円から847千円となり単年度収支については黒字に転換した。

4 抜本的改革を含む経営健全化の取組に係る検討

やぶパートナーズ株式会社は、行政ではカバーしきれない領域をきめ細やかに対応しており、公共性が高い会社である。

実施する事業の取捨選択をすることで、経営改善を図るとともに、行政との連携を強化することで役割分担を明確にし、経営の安定化を図る。

また、やぶパートナーズ株式会社のあり方について、外部有識者検討会議を平成28年度に設置し、経営改善方策、必要性等について検討している。以降、毎年度フォローアップ等を実施している。

5 抜本的改革を含む経営健全化のための具体的な対応

起業や創業を目指す人や養父市での活動を検討する企業の相談などに係る経費については、本来行政が実施すべき業務であることから、市が負担することとした平成29年度決算より収支状況は改善されている。

収益性が低く公共性の高い事業の負担は市が行うなど、実施する事業の取捨選択を行うことで経営改善を行う。

また、経費削減に努めるとともに、負債総額の60%余りを占めている長期借入金については、計画的な償還を行い2021年度には完済見込みであり、2023年度には債務超過から脱却する見通しである。

(参考)

6 法人の財務状況

貸借対照表から	項目	金額（千円）		
		H27年度	H28年度	H29年度
	資産総額	25,445	15,441	10,466
	現預金	8,686	2,434	4,126
	売上債権	5,467	2,955	707
	棚卸資産	5,475	5,534	538
	負債総額	32,554	32,242	26,418
	当該地方公共団体からの借入金	—	—	—
	純資産額	△ 7,108	△ 16,800	△ 15,952

損益計算書から	項目	金額（千円）		
		H27年度	H28年度	H29年度
	経常収益	53,213	71,373	79,336
	経常費用	78,754	83,437	80,886
	経常損益	△ 25,540	△ 12,064	△ 1,549
	経常外損益	7,534	2,503	2,583
	当期純損益	△ 18,183	△ 9,691	847